

常任委員会  
特別委員会

## 決算審査 特別委員会

### 第1回（9月19日）

- ・正副委員長の互選について構成

委員長 佐藤 議員  
副委員長 藤原 議員  
委員  
白馬 議員 村田 議員  
茂呂竹 議員 山内 議員  
谷川 議員 篠原 議員

平成25年度の一般会計、6つの特別会計（国保会計、後期高齢者会計、介護保険会計、介護サービス会計、下水道会計、簡易水道会計）、上水道事業会計の決算について審査を行うため設置しました。

## 総務文教常任委員会

### 第4回（9月3日）

- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更について

て

- ・恵和福祉会「特別養護老人ホームいのちの園」への支援について

援

に

て

- ・「テレビ北海道」中継局の整備について
- ・旧網走信用金庫店舗改修工事について
- ・活汲・本岐小学校統合後の利活用について

## 産業福祉常任委員会

### 第4回（9月4日）

- ・町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正につ

- ・混乗スクールバスの運行計画について
- ・多面的機能支払交付金事業

- ・重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正につ
- ・町道の認定について
- ・平成25年度各会計決算の認定について
- ・意見書等の取り扱いにつ

## 議会運営委員会

### 第9回（9月12日）

- ・第5回津別町議会定例会の運営について
- ・平成25年度各会計決算の認定について
- ・意見書等の取り扱いにつ



## 議会広報特別委員会

### 第10回（10月14日）

- ・第6回津別町議会臨時会の運営について

- ・議会報152号の編集について
- ・議会報152号の編集について
- ・議会報152号の編集について

報告された主な事項  
第5回定例会  
(9月18日)

（9月18日）

■国営農地再編整備事業に係る中央要請 ■南ア

ルプス市長の来町 ■台

北駐日経済文化代表處陳札幌分處長ご夫妻の来町

■体験交流施設のオープ MR他)に係る支援について

■第64回社会を明るくする運動「ふれあい町

ターンの設立について

・の取り組み拡大について

・農業総合サポート事業(TMRセントラル)への支援要請 ■吉川貴盛農林水産副大臣との意見交換会 ■TVh中継局の整備 ※ほか4事項

## 町長行政報告

- 第5次津別町総合計画後期実施計画策定に関する津別町まちづくりセンター運営協議会委員との意見交換会 ■国営農地再編整備事業に係る北海道財務局現地調査 ※ほか3事項

第6回臨時会  
(10月17日)

# 議会日誌

7月

- 28～30日 総務文教常任委員会道内視察（恵庭市、札幌市、新十津川町）  
30～31日 才ホーツク圏活性化期成会夏季要覧（東京都）

8月

- 5日 議員自主研修会  
27日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会（北見市）

9月

- 2日 網走郡下町議会議長・副議長会議  
(津別町)  
3日 第4回総務文教常任委員会  
4日 第4回産業福祉常任委員会  
12日 第9回議会運営委員会  
18~19日 第5回津別町議会定例会  
19日 第1回決算審査特別委員会

10月

- 9日 議員自主研修会  
14日 第10回議会運営委員会  
15日 第8回議会広報特別委員会  
17日 第6回津別町議会臨時会  
第3回全員協議会  
第9回議会広報特別委員会

# 意見書

## 関係行政庁へ 提出しました

- 「手話言語法」制定を求める意見書
  - ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
  - 介護保険制度、子ども・子育て支援新制度に係る平成27年度予算の充実・強化を求める意見書
  - 消費税10%実施の中止を求める意見書
  - 電力料金再値上げの認可をしないことを求める意見書

ツピングセンターができ、被災当時の様子をDVDを使い外国人視察者に説明をしていました。次に南三陸町の仮設住宅内にある「サロン」を見学しました。サロンのスタッフは被災者で、今も仮設住宅に住んでいる人や高齢者、仕事がなくここで働く人などもいました。震災から立ち上がりろうとしている人々のたくましい姿に安堵し、深く感動させられました。

# 總務文教常任委員會 道內行政視察報告 1

平成26年7月28日～30日

#### ○恵庭市「花のまちづくりプランについて」

恵庭市では、平成2年に行われた町おこしの講演の中で示唆されたガーデンシティ構想に着目し、市民と市職員による先進地視察（ニュージーランド クライストチャーチ市）を行い花のまちづくりに取り組み始めた。平成10年に「花のまちづくりプラン」（平成20年に改定版完成）推進のために、花の関係者をはじめ教育・文化・経済団体などから選出された17人で構成された「恵庭花のまちづくり推進会議」を設立し、花と暮らし展、フラワーガーデニングコンテスト、恵庭花とも写真展、花のまちづくり講演会などを開催し花のまちづくりを推進してきた。現在では各種団体や市民の協力のもと、道内屈指のガーデンシティとして認知されている。



街中には、企業や個人によるオープンガーデンが点在し、訪れる人々の目を楽しませている。

たのは、これだけの花のまちであるにもかかわらず、まちを代表する花種が限定されていないことである。これは、道内有数の花苗生産地であることが背景にあって、四季折々の花を成育・供給できることからその季節に合った花々が植栽されており、まさに百花繚乱の花のまちといえる。

官民一体となった花のまちづくり運動は津別町としても大いに参考とすべきで、特にオープンガーデンの取り組みは検討課題と思える。

先日、福島・宮城応援ツアーリーに参加してきました。3年前に訪問した時は、がれきがそのまままで、計画的避難区域に指定され、役場庁舎が移転するという前日に、飯舘村役場を訪問し菅野村長さんから、町づくりの計画を進めていたが、放射能の影響で村を離れなくてはならなくなつた悔しい思いを伺つたのを今も覚えています。